

委員会視察成果報告書

令和8年8月25日

犬山市議会
議長 大沢 秀教 様

議員名 諏訪 毅

下記のとおり、視察の成果を報告いたします。

(1) 視察年月日	令和8年 8月 19日(水) ~ 令和8年 8月 19日(水) (0泊 1日)
(2) 視 察 地	京都府宇治市 宇治市観光センター 「宇治川の鵜飼について」
(3) 視察の種類	常 任 委 員 会 (建 設 経 済 委 員 会)
(4) 視察成果 (視察地ごとに記入)	宇治川の鵜飼は、平安時代にはすでに行われていたと言われている。現在の鵜飼は、大正15年に再興し、宇治の夏の風物詩となっている。鵜匠は現在4名在籍しており、その内3人の女性鵜匠が活躍していた。鵜匠の募集方法を聞いたが、特に募集は行っておらず、鵜匠をやりたいと希望する人が直接観光協会等に連絡があり、採用したとあった。今回残念ながら鵜飼船に乗船することがなかったが、観光センターの前の宇治川に乗船場、遊覧場所等があり又、川幅が狭く川岸からも鵜飼が見れるような環境であった。鵜飼の開催期間は、7月1日から9月30日までで、夜鵜飼のみであった。乗船人数は平成26年に日本で初めて人口ふ化で生まれた鵜の効果もあり、6,970人の乗船人数があった。以降は、新型コロナウイルス感染症等の影響もあり、420人まで落ち込んだが、近年では3,400人まで増加している。乗船人数については、天候等による休業日数がかかり影響していることが確認できた。
(5) 犬山市に 対する提言	今回の視察において、主に鵜舎について視察を行った。宇治川鵜飼の鵜舎は鵜飼を行う場所の目の前の宇治公園の中州にあった。近くに民家等もなく、飼育羽数も14羽と木曽川鵜飼と比べると少ないためか、視察時には匂いや鳴き声等も気にならなかった。木曽川鵜飼の鵜舎については、老朽化で建て替えなどを検討しているなら、現在の場所以外でも検討すべきと考える。(木曽川河畔など)

